



2026年5月16日

YACかわら版710

シップロック

翼のある岩

© Bonnie Frey/geoinfo.nmt.edu

*元データ色反転加工



© Paul Logsdon collection/geoinfo.nmt.edu

クリッパー船
カティースーク



© 日本万国図書館



<https://go.nasa.gov/4tGYaVM>

読書による「根っこ翼」が、情報時代では、衛星データが「考える根っこ」「考える翼」ではなかろうかと考えています。「翼のある岩」は、コペルニクスブラウザをアクティブに使用することによっていろいろな情報を生み出してくれます。(全てセンチネル2)

衛星データは、「考える翼と考える根っこを育んでくれます」とYACかわら版にしばしば書いています。「考える翼」に因(ちな)んだランドマークはないかなと探していたら興味深いものがありました。アメリカのニューメキシコ州北西部にある大きな岩山です。位置情報：36.6875, -108.83638 ①②

英語では、この巨石を海に浮かぶ大きな帆船・クリッパー船に見立てて「シップロック」名付けています。「船岩」ですね。

現地のナバホ族の人々からは「翼のある岩」を意味する「ツェ・ビタイ」と呼ばれています。ナバホの神話では、この巨石は昔先祖を北方の危険な場所から乗せて飛んできた「巨大な鳥」として伝えられているそうです。鳥はその後石になったとされています。ディズニー映画のローンレンジャーでこの巨石を見た記憶がありますが、「翼のある岩」のイメージです。

巨石の歴史は、NASA2006年6月24日の画像には次のように書いています。

何百万年も前、この場所には火山が立っていた。活動がおとろえるにつれて、火山に供給されるマグマはかたまり固い岩になった。一部は結晶化した。やがて、やわらかい岩は風化し、古代の火山の歴史が露出している。

山頂から伸びる堤防のように見える尾根はマグマの経路の名残である。(意訳)

<https://science.nasa.gov/earth/earth-observatory/shiprock-formation-new-mexico-6685/>

この巨石は、「翼のある岩」がぴったりと思えます。

衛星データの学びで、「考える翼」「考える根っこ」ということばを使うようになったきっかけは、上皇后美智子様がかって、国際児童図書評議会、第26回世界大会で子供時代の読書についてお話しされたことに出会ったことがきっかけです。一部のみ掲載します。

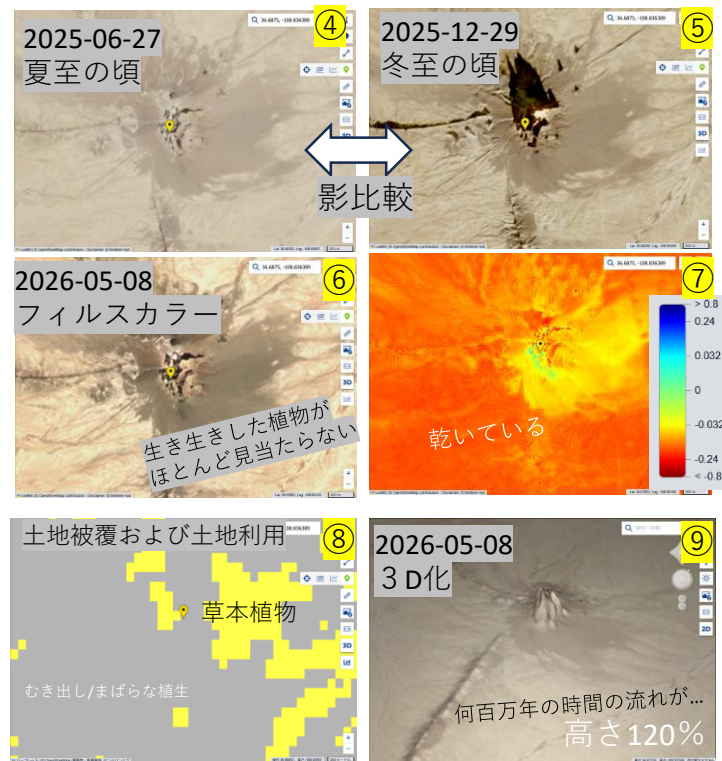
第26回IBBYニューデリー大会(1998年)基調講演

(前略)今振り返って、私にとり、子供時代の読書とは何だったのでしょうか。

何よりも、それは私に楽しみを与えてくれました。そして、その後に来る、青年期の読書のための基礎を作ってくれました。

それはある時には私に根っこを与え、ある時には翼をくれました。この根っこと翼は、私が外に、内に、橋をかけ、自分の世界を少しずつ広げて育てていくときに、大きな助けとなってくれました。(以下略)

<https://www.kunaicho.go.jp/okotoba/01/ibby/koen-h10sk-newdelhi.html>



観測日時を変え、色合成等レイヤーを変え、さらに3D化すると多くの発見があります。アクティブに調べるとき「根っこと翼」を実感できます。